

証券コード 9271
2026年3月11日
(電子提供措置の開始日2026年3月4日)

株 主 各 位

東京都渋谷区千駄ヶ谷三丁目20番12号
株 式 会 社 和 心
代表取締役社長 森 智 宏

第23回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第23回定時株主総会の開催を下記のとおりご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては電子提供措置をとっており、インターネット上の下記ウェブサイトに「第23回定時株主総会招集ご通知」及び「第23回定時株主総会その他の電子提供措置事項（交付書面省略事項）」として電子提供措置事項を掲載しております。

当社ウェブサイト <https://www.wagokoro.co.jp/ir/irnews.html>

また、上記のほか、インターネット上の下記ウェブサイトにも掲載しております。

東京証券取引所ウェブサイト

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

上記ウェブサイトアクセスして、当社名又は証券コードを入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択の上、ご覧ください。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら電子提供措置事項に掲載の株主総会参考書類をご検討の上、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、**2026年3月25日（水曜日）午後5時30分までに到着するようご返送くださいますようお願い申し上げます。**

敬 具

記

- | | |
|-----------------|--|
| 1. 日 時 | 2026年3月26日（木曜日）午前11時
(受付開始は午前10時30分を予定しております。) |
| 2. 場 所 | 東京都渋谷区千駄ヶ谷三丁目20番12号 和心ビル
株式会社和心 1階特設会場
(末尾の会場ご案内図をご参照ください。) |
| 3. 目的事項
報告事項 | 1. 第23期（2025年1月1日から2025年12月31日まで）
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第23期（2025年1月1日から2025年12月31日まで）
計算書類報告の件 |

決議事項

第1号議案 第2号議案 第3号議案

定款一部変更の件
監査等委員でない取締役5名選任の件
監査等委員である取締役3名選任の件

以上

~~~~~  
当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

議決権行使書面において、議案に賛否の表示がない場合は、賛成の意思表示をされたものとして取り扱わせていただきます。

ご送付している書面は、書面交付請求に基づく電子提供措置事項記載書面を兼ねております。なお、法令及び当社定款第17条の規定に基づき、下記の事項を除いております。

したがって、当該書面は監査報告を作成するに際し、監査等委員会及び会計監査人が監査をした書類の一部であります。

- ・「新株予約権等の状況」
- ・「業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況の概要」
- ・「連結株主資本等変動計算書」
- ・「連結注記表」
- ・「連結計算書類に係る会計監査報告」
- ・「株主資本等変動計算書」
- ・「個別注記表」
- ・「計算書類に係る会計監査報告」
- ・「監査等委員会の監査報告」

なお、電子提供措置事項に修正が生じた場合は、掲載している各ウェブサイトにも修正内容を掲載させていただきます。

# 事業報告

(2025年1月1日から  
2025年12月31日まで)

## 1. 企業集団の現況

### (1) 当連結会計年度の事業の状況

#### ① 事業の経過及び成果

当連結会計年度（自2025年1月1日至2025年12月31日）におけるわが国経済は、社会・経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな持ち直しが見られました。一方で、米国政府による関税政策の変更をはじめとする通商政策の動向や、各国の経済政策の変化等を背景とした世界経済の不確実性が高まっております。加えて、中国経済の動向や日中外交関係の変化等に伴う中国からの訪日客数の変動が国内景気に影響を与える可能性があり、また、物価上昇や中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属する小売・サービス業界は、アフターコロナにおいて消費者の購買行動が順調に回復する中でも、食材価格や労働力不足による人件費上昇など、収益性の改善については厳しい状況が依然として続いております。また、2025年1月～12月の訪日外客数は約4,268万人となり、年間訪日外客数は過去最高を更新し（出典：日本政府観光局（JNTO））、インバウンド需要は順調に推移しております。このような経済環境の下、当社は「日本のカルチャーを世界へ」を経営理念に、「日本文化を感じるモノを作り販売する」事業を中心としたインバウンドMD事業及びその他事業の強化に引き続き取り組みました。個人消費や国内観光の回復や訪日外客数の増加を背景に、来店客数も増加（前年同期比28.1%増）しております。

当連結会計年度においては来店客数が前年同期比28.1%と増加したため増収となりました。出退店につきましては、当連結会計年度において出店は9店舗、退店は1店舗であり、当連結会計年度末の店舗数は合計35店舗（前連結会計年度末比8店舗増）となりました。一方で、店舗関連費用の削減に取り組み、販売費及び一般管理費は1,389,484千円となりました。

その結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高2,783,840千円（前年同期比32.8%増）、営業利益567,712千円（前年同期比36.2%増）、経常利益は531,563千円（前年同期比36.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益706,854千円（前年同期比77.4%増）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

（インバウンドMD事業）

インバウンドMD事業においては、観光客の増加により増収となりました。

出店につきましては〔かんざし屋wargo〕を3店舗と、〔北斎グラフィック〕を3店舗、〔箸や万作〕を3店舗出店しました。当連結会計年度末における店舗数は、〔かんざし屋wargo〕13店舗（前連結会計年度末比5店舗増）、〔The Ichi〕1店舗（同2店舗減）、〔北斎グラフィック〕13店舗（同2店舗増）、〔箸や万作〕5店舗（同3店舗増）、〔1円着物wargo〕2店舗（同±0）、〔MUSUMUSU〕1店舗（同±0）、合計35店舗（同8店舗増）となりました。その他、ネット通販、OEMサービス等も行っております。

その結果、インバウンドMD事業の売上高は2,587,312千円（前年同期比30.7%増）、セグメント利益は786,301千円（前年同期比36.0%増）となりました。

（その他事業）

その他事業においては、子会社であるマイグレ株式会社により、静岡県を中心に空き家をリノベーションした不動産賃貸業及び宿泊施設を運営しております。

この結果、当連結会計年度におけるその他事業の売上高は199,287千円（前年同期比47.7%増）、セグメント利益は22,724千円（前年同期比17.2%増）となりました。

② 設備投資の状況

当連結会計年度中の設備投資の総額は219,832千円で、事業部門別の内訳は次のとおりであります。

| 事業部門       | 設備投資金額（千円） | 設備投資の主な内容・目的  |
|------------|------------|---------------|
| インバウンドMD事業 | 34,807     | 新規店舗出店等       |
| その他事業      | 148,832    | 新規宿泊施設の開発費等   |
| 全社（共通）     | 36,192     | 本社改修工事、リース資産等 |
| 合計         | 219,832    |               |

③ 資金調達の状況

該当事項はありません。

## (2) 財産及び損益の状況

### ① 企業集団の財産及び損益の状況

| 区 分                                 | 第 20 期<br>(2022年12月期) | 第 21 期<br>(2023年12月期) | 第 22 期<br>(2024年12月期) | 第 23 期<br>(当連結会計年度)<br>(2025年12月期) |
|-------------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------------------|
| 売 上 高 (千円)                          | 996,843               | 1,330,928             | 2,094,946             | 2,783,840                          |
| 経常利益又は経常損失 (△) (千円)                 | △220,584              | 11,187                | 389,016               | 531,563                            |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益又は当期純損失 (△) (千円) | △82,884               | △13,465               | 398,330               | 706,854                            |
| 1株当たり当期純利益又は当期純損失 (△) (円)           | △23.25                | △2.72                 | 62.67                 | 109.71                             |
| 総 資 産 (千円)                          | 665,801               | 1,024,704             | 1,275,465             | 1,865,862                          |
| 純 資 産 (千円)                          | △441,820              | 142,975               | 568,354               | 1,267,524                          |
| 1株当たり純資産 (円)                        | △130.99               | 15.31                 | 81.06                 | 190.38                             |

(注) 当連結会計年度より、「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を適用しております。

### ② 当社の財産及び損益の状況

| 区 分                       | 第 20 期<br>(2022年12月期) | 第 21 期<br>(2023年12月期) | 第 22 期<br>(2024年12月期) | 第 23 期<br>(当事業年度)<br>(2025年12月期) |
|---------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------------|
| 売 上 高 (千円)                | 962,403               | 1,269,961             | 1,978,814             | 2,631,487                        |
| 経常利益又は経常損失 (△) (千円)       | △201,959              | 2,106                 | 395,052               | 547,464                          |
| 当期純利益又は当期純損失 (△) (千円)     | △164,457              | △42,718               | 380,719               | 699,048                          |
| 1株当たり当期純利益又は当期純損失 (△) (円) | △46.14                | △8.64                 | 59.90                 | 108.50                           |
| 総 資 産 (千円)                | 524,960               | 826,624               | 1,035,434             | 1,733,894                        |
| 純 資 産 (千円)                | △553,080              | △662                  | 405,101               | 1,191,448                        |
| 1株当たり純資産 (円)              | △156.91               | △4.48                 | 58.87                 | 178.70                           |

## (3) 重要な親会社及び子会社の状況

### ① 親会社の状況

該当事項はありません。

### ② 重要な子会社の状況

| 会 社 名    | 資 本 金 | 当社の議決権比率 | 主要な事業内容 |
|----------|-------|----------|---------|
| マイグレ株式会社 | 85百万円 | 100%     | 不動産賃貸業務 |

#### (4) 対処すべき課題

当社が対処すべき主な課題は、以下の項目と認識しています。

##### (ア) 事業推進上の課題

###### ① 好立地・好条件の物件獲得

当社の事業発展には、好立地・好条件の物件への新規出店を継続的に行うことが重要と考えています。当社は複数ルートからの物件情報収集と積極的な条件交渉を行い、全国の主要都市や観光地への出店を再度推し進め、営業基盤を拡大してまいります。新規出店計画は当社の事業発展並びに当社の収益に大きく影響を及ぼすものと認識しております。そのため、好立地・好条件の物件を獲得するためのネットワークを確立できるよう努めるとともに、ドミナント戦略の特性を活かした計画的かつ効率的な出店を行い、出店準備の内製化等の具体的な施策も含め、更なる収益性の向上に努めてまいります。

###### ② IT技術革新への対応

近年、デバイスの多様化と進化に伴い、インターネット経由の消費が増加するとともにEC市場参入企業が増えており、競争力を強化する上でIT技術革新への迅速な対応が課題と考えています。インバウンドMD事業では集客手段としてインターネット上に複数のECサイトを運営しています。ECサイトの企画から開発、運営とwebマーケティングの運用を一貫して内製化することで迅速で高頻度な新コンテンツのリリース等に対応してきました。webマーケティング、ユーザビリティ及びコンテンツへの対応をすることにより、今後の競争力を強化してまいります。

###### ③ 安定した需要の確保

アニメ・ゲームMD事業部のOEM事業は、キャラクターグッズ業界をはじめとしたコンテンツ産業に高いニーズがあります。アニメ・ゲームや漫画などへの消費は、経済変動による影響が大きいですが、大手企業の人気IP商品を獲得することにより、景気に左右されない、安定した売上の確保が大きな課題と考えております。当社には、大手企業のゲーム・漫画やアニメキャラクターとのコラボ商品の開発及び販売実績が多数ありますが、さらに小売り部門の実店舗やECサイトを通じて得る市場トレンド・消費者ニーズに関するマーケティング情報や開発のノウハウをOEM事業の提案内容に織り込み、他社ではなし得ない、小売の強みを活かした提案で、競合他社との差別化を図っております。

###### ④ 新規・周辺領域ビジネスの立上げ

当社は設立以来、商材の企画・開発を行い、主に商材ごとのマルチブランド展開戦略で成長を図ってまいりました。当社が事業の高い成長と企業価値の向上を継続的にさせていくためには、既存及び新規ブランドの店舗開発を積極的に進めていくとともに新規・周辺領域ビジネスにチャレンジしていくことが必

要であると考えております。その他事業では、不動産賃貸事業及び宿泊施設運営を開始しております。今後もリスク管理体制の整備・運用を徹底した上で、新規及び周辺領域ビジネスの立上げによる収益の多角化を積極的に進めてまいります。

## (イ) 組織運営上の課題

### ① 人材の採用と育成

当社が継続的成長を遂げるためには、各分野に精通した優秀な人材の確保が重要であると考えています。中でも、当社が提供する商品やサービスのテーマとなる「日本のカルチャー」に関連する知識や経験を備えたデザイナーやECサイト運営に係るエンジニアの確保、熟練の着付け師の増員が重要な課題であると認識しており、当該人材の採用に注力してまいります。入社時には正社員、アルバイトを問わず、全ての社員・スタッフに当社の企業理念や今後の事業についての研修を実施し、全社員・スタッフが統一した意識を持ち業務に当たるよう育成をしています。

### ② 情報管理体制の強化

当社は主要な集客手段としてインターネット上に複数の自社媒体を運営しており、多数の個人情報を持しているため、情報管理が最重要課題であると認識しています。当社においては、厳格な個人情報管理体制を構築していますが、今後も、社内規程の厳格な運用、定期的な社内教育の実施、セキュリティシステムの整備等を実施し、情報管理体制の維持及び強化を図ってまいります。また、社内業務の効率化と省力化を図るため、社内情報システムの整備を継続的に行ってまいります。

## (5) 主要な事業内容 (2025年12月31日現在)

当社は「日本のカルチャーを世界へ」を経営理念に、「日本文化を感じるモノを作り販売する」インバウンドMD事業及びその他の事業、の2つの事業を運営しております。

インバウンドMD事業ではインターネット上での周知・拡散を集客手段の基本とし、京都をはじめとした国内の主要都市／観光地においてドミナント出店を行うことで、お客様が最初に接点を持った1店舗／1媒体を入口に、他店舗／他媒体への興味・関心を喚起することで、お客様に複数の製品と購買機会を提供するビジネスモデルを展開しております。

## (ア) インバウンドMD事業

インバウンドMD事業は、企画・デザインから製造、販売までを自社で徹底して管理する製造小売業、いわゆるSPAの事業形態を採っております。店舗の空間設計や施工、オムニチャンネル化を可能としたECサイトの開発・運用まで一貫して管理する事業形態を採ることで、効率的かつ高収益を目指した小売業を展開しております。また、小売業で蓄積したノウハウを武器に、他企業へのOEM提案を行っております。

### ① 小売部門

[かんざし屋wargo]、[北斎グラフィック]、[箸や万作]、[1円着物wargo]及びこれら複数ブランドの商品を取り扱う複合店舗 [The Ichi] を京都をはじめ国内の主要都市／観光地に展開しております。また、店舗出店の他、ECサイトにおける販売及び催事場による販売も行っております。いずれのブランドにおいてもオリジナルデザインを中心に、伝統工芸から人気キャラクターまで様々なコラボ商品を手掛けており、1商材に対する商品数の充実に注力し、多種多様な顧客ニーズに対応しております。また、お客様に楽しみながらお買い物をしていただける店作りを追求しております。

各ブランドの主な特徴は以下のとおりです。

| ブランド名        | 主な特徴                                                                                                                                               |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| [かんざし屋wargo] | 2005年に発足した、かんざしをメイン商材とした当社主力ブランドであり、[かんざし屋wargo]にて販売しております。日本の伝統的な装飾品であるかんざしを、オリジナルデザインで現代に蘇らせることをコンセプトとし、和の伝統美を取り入れながら現代の日常生活で気軽に楽しめる商品を展開しております。 |
| [北斎グラフィック]   | 傘をメイン商材としたブランドであり、[北斎グラフィック]にて販売しております。軽量で機能的な現代の傘に、伝統を継承した和傘スタイルを併せ持つ、新しい傘を提案しております。                                                              |
| [箸や万作]       | 2017年6月に発足した箸をメイン商材としたブランドであり、[箸や万作]にて販売しております。「万（よろず）の箸を作る」という意味を込めた箸と箸置き専門店、日本全国の箸が手に入るような専門店を目指しております。                                          |
| [1円着物wargo]  | [1円着物wargo]は、着物の衣類ロスを減らしサステナブルファッションへの取り組みを行いたいと考え、業界初の1g=1円の着物の量り売りを行いました。                                                                        |

## ② OEM部門

当社は、アニメ、ゲームや漫画及びそのキャラクターグッズなどクールジャパンの筆頭に挙げられるサブカルチャーコンテンツを手掛ける企業を主要取引先として、自社商品の製造過程で培ってきた国内外の多数の提携工場とのリレーションを活かし、原価を抑え、品質を維持した小ロット生産にも対応できるOEMサービスを提供しております。商材毎に特化した所謂商材専門のOEM制作サイトを開設し、新規顧客開拓の主要手段としております。また、新規取引からリピーター顧客も多く積み上げ式に取引先は増えております。長年にわたる小売店舗の運営経験を活かした提案が可能であること、社内の専属デザイナーと顧客との間で直接コミュニケーションが可能であること、などが強みに挙げられます。

### (イ) その他事業

その他事業においては、静岡県伊東市などの伊豆半島を中心に空き家をリノベーションして宿泊施設として貸し出す事業と不動産賃貸業を運営しております。宿泊施設は、サウナや露天風呂などを設置し、絶好のロケーションで日常からかけ離れた非日常を提供しています。

## (6) 主要な営業所 (2025年12月31日現在)

### ① インバウンドMD事業

セグメントにおける都道府県別及び業態別の店舗状況は次のとおりであります。  
 <都道府県別>

| セグメント      | 都道府県             | 2024年12月末店舗数 | 2025年12月末店舗数 |
|------------|------------------|--------------|--------------|
| インバウンドMD事業 | 東京都              | 5            | 8            |
|            | 神奈川県             | 1            | 2            |
|            | 埼玉県              | —            | 1            |
|            | 静岡県              | 1            | 1            |
|            | 愛知県              | 1            | 2            |
|            | 長野県              | 2            | 1            |
|            | 石川県              | 2            | 2            |
|            | 京都府              | 6            | 9            |
|            | 島根県              | 2            | 2            |
|            | 福岡県              | 4            | 4            |
|            | 熊本県              | 1            | 1            |
|            | 大分県              | 2            | 2            |
|            | インバウンドMD事業<br>合計 | 27           | 35           |

### <業態別>

| セグメント      | 業態           | 2024年12月末店舗数 | 2025年12月末店舗数 |
|------------|--------------|--------------|--------------|
| インバウンドMD事業 | かんざし屋wargo   | 8            | 13           |
|            | 北斎グラフィック     | 11           | 13           |
|            | 簪や万作         | 3            | 5            |
|            | The Ichi     | 3            | 1            |
|            | 1円着物wargo    | 1            | 2            |
|            | musumusu     | 1            | 1            |
|            | インバウンドMD事業合計 | 27           | 35           |

② その他事業

| セグメント | 業態      | 2024年12月末物件数 | 2025年12月末物件数 |
|-------|---------|--------------|--------------|
| その他事業 | 賃貸物件    | 7            | 7            |
|       | 民泊物件    | 13           | 18           |
|       | その他事業合計 | 20           | 25           |

## (7) 使用人の状況 (2025年12月31日現在)

### ① 企業集団の使用人の状況

| 事業区分         | 使用人数       |
|--------------|------------|
| インバウンド MD 事業 | 33 (119) 名 |
| 全社 (共通)      | 15 (22)名   |
| 合計           | 48 (141) 名 |

(注) 使用人数は就業人員であり、臨時雇用者数 (パートタイマー、人材会社からの派遣社員を含む。) は、( ) 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

### ② 当社の使用人の状況

| 使用人数       | 前事業年度末比増減    | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|------------|--------------|-------|--------|
| 48 (129) 名 | 9名増 ( 21名増 ) | 34.9歳 | 3.4年   |

(注) 使用人数は就業人員 (当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。) であり、パート及び嘱託社員は ( ) 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

## (8) 主要な借入先の状況 (2025年12月31日現在)

| 借入先          | 借入額       |
|--------------|-----------|
| 株式会社静岡銀行     | 100,000千円 |
| 株式会社商工組合中央金庫 | 90,009千円  |
| 株式会社三井住友銀行   | 50,506千円  |
| 株式会社りそな銀行    | 35,718千円  |
| 株式会社静岡中央銀行   | 28,846千円  |
| 株式会社みずほ銀行    | 16,272千円  |
| 株式会社三菱UFJ銀行  | 16,241千円  |
| 株式会社きらぼし銀行   | 15,905千円  |

## (9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2. 株式の状況 (2025年12月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 12,000,000株  
(2) 発行済株式の総数 6,511,724株  
(3) 株主数 1,571名  
(4) 大株主

| 株 主 名                       | 持 株 数   | 持 株 比 率 |
|-----------------------------|---------|---------|
| 森 智 宏                       | 1,643千株 | 25.23%  |
| 株 式 会 社 フ ォ レ ス ト           | 1,007   | 15.46   |
| 佐 野 健 一                     | 717     | 11.01   |
| 吉 村 英 毅                     | 353     | 5.43    |
| 最 上 夢 人                     | 264     | 4.06    |
| 楽 天 証 券 株 式 会 社             | 228     | 3.50    |
| 株 式 会 社 S B I 証 券           | 155     | 2.39    |
| 吉 村 英 毅                     | 153     | 2.35    |
| 株 式 会 社 口 一 カ ル             | 111     | 1.71    |
| GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL | 109     | 1.67    |

(注) 当社は、自己株式を保有していません。

### 3. 会社役員の状況

#### (1) 取締役の状況 (2025年12月31日現在)

| 会社における地位    | 氏 名     | 担当及び重要な兼職の状況                                                                   |
|-------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役社長     | 森 智 宏   | 株式会社フォレスト代表取締役社長<br>マイグレ株式会社代表取締役                                              |
| 専務取締役       | 最 上 夢 人 | 店舗事業部本部長                                                                       |
| 専務取締役       | 小田桐 新 五 | 法人営業部本部長                                                                       |
| 取 締 役       | 稲 井 祥 平 | 株式会社リフィナス 代表取締役社長                                                              |
| 取締役 (監査等委員) | 白 瀧 敏 朗 | 白瀧総合研究所株式会社 代表取締役社長<br>株式会社キャパ取締役                                              |
|             | 津 金 庸 平 | 津金庸平公認会計士・税理士事務所代表<br>LanCul株式会社監査役<br>株式会社マイベスト監査役<br>NiceGuysVision株式会社代表取締役 |
|             | 山 口 一   | 株式会社CONOC 代表取締役社長                                                              |

- (注) 1. 取締役稲井祥平氏、白瀧敏朗氏、津金庸平氏、山口一氏は、社外取締役であります。
2. 当社は、取締役稲井祥平氏、白瀧敏朗氏、津金庸平氏、山口一氏を株式会社東京証券取引所の定める独立役員として指定し、同証券取引所に届け出ております。
3. 監査等委員である津金庸平氏は、公認会計士の資格を有し、財務及び会計に関する相当程度の知見及び経験を有しております。
4. 監査等委員会設置会社のもと、監査等委員会が主体となり内部統制システムを通じた組織的な監査を実施しているため、必ずしも常勤者の選定を必要としないことから、常勤の監査等委員を選定しておりません。

#### (2) 責任限定契約の内容の概要

当社は、定款において会社法第427条第1項に基づき、非業務執行取締役及び監査等委員である取締役との間において、会社法第423条第1項の損害賠償責任について、法令の限度において免除することができる旨を定めております。なお、当社と社外取締役稲井祥平氏、白瀧敏朗氏、津金庸平氏並びに山口一氏との間で責任限定契約を締結しております。

### (3) 補償契約の内容の概要

当社は森智宏氏、最上夢人氏、小田桐新五氏、稲井祥平氏、白瀨敏朗氏、津金庸平氏並びに山口一氏との間で、会社法第430条の2第1項に規定する補償契約を締結しており、同項第1号の費用及び同項第2号の損失を法令の定める範囲内において当社が補償することとしております。ただし、法令違反の行為であることを認識して行った行為に起因して生じた損害は補償されないなど、一定の免責事由があります。

### (4) 役員等賠償責任保険契約の内容の概要

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約の被保険者の範囲は当社の取締役、執行役員及び管理職従業員であり、被保険者は保険料を負担しておりません。当該保険契約により保険期間中に被保険者に対して提起された損害賠償請求にかかる訴訟費用及び損害賠償金等が填補されることとなります。

ただし、被保険者の職務の執行の適正性が損なわれないようにするため、当該被保険者が法令違反の行為であることを認識して行った行為に起因して生じた損害の場合には填補の対象とならないなど、一定の免責事由があります。

### (5) 取締役の報酬等

当事業年度に係る報酬等の総額

| 区 分                                      | 員 数        | 報 酬 等 の 額             |
|------------------------------------------|------------|-----------------------|
| 監 査 等 委 員 で な い 取 締 役<br>(う ち 社 外 取 締 役) | 3名<br>(1名) | 44,100千円<br>(1千円)     |
| 監 査 等 委 員 で あ る 取 締 役<br>(う ち 社 外 取 締 役) | 3名<br>(3名) | 2,160千円<br>(2,160千円)  |
| 合 計<br>(う ち 社 外 役 員)                     | 6名<br>(3名) | 46,260千円<br>(2,160千円) |

- (注) 1. 取締役の支給員数は、無報酬の社外取締役2名を除いております。
2. 当社の監査等委員でない取締役の報酬は、2020年3月27日開催の定時株主総会において年額100,000千円の報酬限度額の範囲内と決議されております。当該定時株主総会終結時点の取締役の員数は4名です。
3. 当社の監査等委員である取締役の報酬は、2020年3月27日開催の定時株主総会において、年額20,000千円の報酬限度額の範囲内と決議されております。当該定時株主総会終結時点の取締役の員数は3名です。

4. 決定方針の決定方法については、取締役会にて審議した上で決定しております。監査等委員でない取締役の報酬は、株主総会で承認を受けた報酬限度額の範囲内で、取締役会の一任を受けた代表取締役社長森智宏氏が役位及び職責等を勘案し、各取締役の報酬配分を決定しております。当事業年度における監査等委員でない取締役の報酬等の決定に関しては、2022年3月28日開催の取締役会において、固定報酬額の設定及び具体的金額を代表取締役に一任する旨を決議しております。委任した理由は、当社全体の業績等を勘案しつつ各個人の担当部門について評価を行うには代表取締役社長が適していると判断したためであります。なお、監査等委員でない取締役の報酬は固定報酬のみで、業績連動報酬を含みません。監査等委員でない取締役の個人別の報酬等の内容及び金額は、取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針及びこれに基づく社内規程に従って取締役会が決定していることから、当該決定方針に沿うものであると判断しております。
4. 監査等委員である取締役の報酬等の額は、株主総会で定められた報酬総額の限度内において、監査等委員会監査における各委員の貢献度等を換算して、監査等委員である取締役の協議により決定しております。

## (6) 社外役員に関する事項

- ① 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係
  - ・社外取締役の稲井祥平氏は、株式会社リフィナスの代表取締役社長であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。
  - ・社外取締役の白瀧敏朗氏は、白瀧総合研究所株式会社の代表取締役社長及び株式会社キャパの取締役であります。当社と各兼職先との間には特別の関係はありません。
  - ・社外取締役の津金庸平氏は、津金庸平公認会計士・税理士事務所の代表、LanCul株式会社の監査役、株式会社マイベストの監査役、NiceGuysVision株式会社の代表取締役であります。当社と各兼職先との間には特別の関係はありません。
  - ・社外取締役の山口一氏は、株式会社CONOCの代表取締役社長であります。当社は同社の株式を保有しておりますが、その保有割合は21.0%であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。

② 当事業年度における主な活動状況

| 区分              | 氏名   | 出席状況及び発言状況等                                                                                                          |
|-----------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役             | 稲井祥平 | 当事業年度に開催された取締役会20回のうち17回に出席いたしました。出席した取締役会において、会社経営者としての豊富な経験と幅広い見識に基づき、経営全般の観点から適宜発言を行っております。                       |
| 監査等委員<br>である取締役 | 白瀧敏朗 | 当事業年度に開催された取締役会20回のうち20回、監査等委員会5回のうち5回に出席いたしました。出席した取締役会及び監査等委員会において、会社経営者としての豊富な経験と幅広い見識に基づき、経営全般の観点から適宜発言を行っております。 |
|                 | 津金庸平 | 当事業年度に開催された取締役会20回のうち20回、監査等委員会5回のうち5回に出席いたしました。出席した取締役会及び監査等委員会において、主に財務・会計等に関し、公認会計士としての専門的見地から適宜発言を行っております。       |
|                 | 山口一  | 当事業年度に開催された取締役会20回のうち20回、監査等委員会5回のうち5回に出席いたしました。出席した取締役会及び監査等委員会において、会社経営者としての豊富な経験と幅広い見識に基づき、経営全般の観点から適宜発言を行っております。 |

## 4. 会計監査人の状況

### (1) 名称 監査法人アリア

### (2) 報酬等の額

|                                     | 報酬等の額    |
|-------------------------------------|----------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額                 | 20,227千円 |
| 当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 20,227千円 |

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 監査等委員会は、社内関係部署及び会計監査人から必要な資料の入手、報告を受けた上で会計監査人の監査計画の内容、報酬の算定根拠及び水準について確認し、当事業年度の報酬が会計監査人の独立性を維持し、適切な会計監査を遂行するに相応しい額の監査報酬であるかを審議した結果、妥当であると判断したため監査法人の報酬に同意しております。

### (3) 非監査業務の内容

該当事項はありません。

### (4) 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査等委員会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。

監査等委員会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査等委員全員の同意に基づき会計監査人を解任いたします。この場合、監査等委員会が選定した監査等委員は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

## 5. 会社の支配に関する基本方針

当社は、株主・従業員・取引先等、全てのステークホルダーとの良好な関係を重視し、透明性の高い健全なコーポレート・ガバナンス体制及び企業倫理の構築に向け、鋭意改善努力を行っております。また、遵法の精神に基づきコンプライアンスの徹底、経営の透明性と公正性の向上及び環境変化への機敏な対応と競争力の強化を目指して、最適な経営管理体制の構築に努めております。

現時点では特別な買収防衛策を導入いたしておりませんが、今後も引き続き社会情勢等の変化を注視しつつ弾力的な検討を行ってまいります。

## 6. 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、2025年12月期の業績及び中期的な業績見通し、投資計画、財務基盤等を総合的に勘案し、現時点においては、2026年の配当について、1株当たり12円を目安として検討しております。

配当原資の上限を約1億円とした場合、2026年の当社予想EBITDA(償却前営業利益)8.0億円との比較においても、配当額は限定的な水準であり、成長投資には影響がない範囲と考えています。

事業が概ね計画通りに進捗し、配当を実施する場合には、2026年6月の中間期及び同年12月の期末にそれぞれ概ね50%ずつを、各基準日時点の株主の皆様へお支払いすることを想定しております。

## 連結貸借対照表

(2025年12月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額              | 科 目            | 金 額              |
|-----------------|------------------|----------------|------------------|
| <b>(資産の部)</b>   |                  | <b>(負債の部)</b>  |                  |
| <b>流動資産</b>     | <b>1,071,128</b> | <b>流動負債</b>    | <b>436,791</b>   |
| 現金及び預金          | 599,863          | 買掛金            | 60,400           |
| 売掛金             | 118,273          | 短期借入金          | 175,737          |
| 商品              | 252,177          | 1年以内返済予定の長期借入金 | 24,000           |
| 前渡金             | 27,014           | 未払金            | 107,673          |
| その他             | 74,886           | 未払法人税等         | 14,930           |
| 貸倒引当金           | △1,088           | 前受金            | 21,550           |
| <b>固定資産</b>     | <b>794,734</b>   | 預り金            | 8,895            |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>340,840</b>   | 賞与引当金          | 13,371           |
| 建物              | 196,795          | その他            | 10,231           |
| 土地              | 98,028           | <b>固定負債</b>    | <b>161,547</b>   |
| その他             | 46,017           | 長期借入金          | 153,762          |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>3,333</b>     | その他            | 7,785            |
| ソフトウェア          | 3,269            | <b>負債合計</b>    | <b>598,338</b>   |
| その他             | 64               | <b>(純資産の部)</b> |                  |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>450,559</b>   | <b>株主資本</b>    | <b>1,239,725</b> |
| 関係会社株式          | 80,465           | 資本金            | 50,000           |
| 敷金              | 139,032          | 資本剰余金          | 967,465          |
| 繰延税金資産          | 166,572          | 利益剰余金          | 222,259          |
| その他             | 64,489           | 新株予約権          | 27,798           |
| <b>資産合計</b>     | <b>1,865,862</b> | <b>純資産合計</b>   | <b>1,267,524</b> |
|                 |                  | <b>負債純資産合計</b> | <b>1,865,862</b> |

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(2025年1月1日から  
2025年12月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目                           | 金 額      | 金 額       |
|-------------------------------|----------|-----------|
| 売 上 高                         |          | 2,783,840 |
| 売 上 原 価                       |          | 826,643   |
| 売 上 総 利 益                     |          | 1,957,196 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費           |          | 1,389,484 |
| 営 業 利 益                       |          | 567,712   |
| 営 業 外 収 益                     |          |           |
| 受 取 利 息                       | 3,964    |           |
| 支 払 手 数 料 返 還 金               | 700      |           |
| そ の 他                         | 844      | 5,509     |
| 営 業 外 費 用                     |          |           |
| 支 払 利 息                       | 8,188    |           |
| 株 式 交 付 費                     | 1,000    |           |
| 為 替 差 損                       | 2,949    |           |
| 持 分 法 に よ る 投 資 損 失           | 24,313   |           |
| 雑 損 失                         | 5,206    | 41,658    |
| 経 常 利 益                       |          | 531,563   |
| 特 別 利 益                       |          |           |
| 固 定 資 産 売 却 益                 | 1,172    |           |
| 関 係 会 社 株 式 売 却 益             | 2,061    |           |
| 持 分 変 動 利 益                   | 29,663   |           |
| 訴 訟 損 失 引 当 金 戻 入 額           | 268      | 33,166    |
| 特 別 損 失                       |          |           |
| 固 定 資 産 除 却 損                 | 8,607    | 8,607     |
| 税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益         |          | 556,123   |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税         | 15,841   |           |
| 法 人 税 等 調 整 額                 | △166,572 | △150,731  |
| 当 期 純 利 益                     |          | 706,854   |
| 親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益 |          | 706,854   |

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 貸借対照表

(2025年12月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額              | 科 目            | 金 額              |
|-----------------|------------------|----------------|------------------|
| <b>(資産の部)</b>   |                  | <b>(負債の部)</b>  |                  |
| <b>流動資産</b>     | <b>1,072,161</b> | <b>流動負債</b>    | <b>406,456</b>   |
| 現金及び預金          | 585,275          | 買掛金            | 60,400           |
| 売掛金             | 116,520          | 短期借入金          | 175,737          |
| 商品              | 251,407          | 1年以内返済予定の長期借入金 | 20,712           |
| 前渡金             | 27,014           | 未払金            | 90,583           |
| 前払費用            | 33,624           | リース債務          | 5,838            |
| その他             | 59,406           | 未払費用           | 2,705            |
| 貸倒引当金           | △1,088           | 預り金            | 7,825            |
| <b>固定資産</b>     | <b>661,733</b>   | 未払法人税等         | 14,930           |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>128,874</b>   | 前受金            | 14,350           |
| 建物              | 85,928           | 賞与引当金          | 13,371           |
| 機械装置            | 2,451            | <b>固定負債</b>    | <b>135,989</b>   |
| 車両運搬具           | 5,087            | 長期借入金          | 128,204          |
| 工具器具備品          | 17,131           | リース債務          | 7,785            |
| リース資産           | 17,603           | <b>負債合計</b>    | <b>542,445</b>   |
| その他             | 670              | <b>(純資産の部)</b> |                  |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>3,333</b>     | 株主資本           | 1,163,650        |
| ソフトウェア          | 3,269            | 資本金            | 50,000           |
| その他             | 64               | 資本剰余金          | 1,007,636        |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>529,525</b>   | 資本準備金          | 986,686          |
| 関係会社株式          | 203,268          | その他資本剰余金       | 20,950           |
| 出資金             | 155              | <b>利益剰余金</b>   | <b>106,013</b>   |
| 長期前払費用          | 21,117           | その他利益剰余金       | 106,013          |
| 敷金              | 137,697          | 繰越利益剰余金        | 106,013          |
| 繰延税金資産          | 166,572          | <b>新株予約権</b>   | <b>27,798</b>    |
| その他             | 714              | <b>純資産合計</b>   | <b>1,191,448</b> |
| <b>資産合計</b>     | <b>1,733,894</b> | <b>負債純資産合計</b> | <b>1,733,894</b> |

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 損 益 計 算 書

(2025年1月1日から  
2025年12月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目                 | 金        | 額         |
|---------------------|----------|-----------|
| 売 上 高               |          | 2,631,487 |
| 売 上 原 価             |          | 764,614   |
| 売 上 総 利 益           |          | 1,866,873 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 |          | 1,310,432 |
| 営 業 利 益             |          | 556,440   |
| 営 業 外 収 益           |          |           |
| 受 取 利 息             | 4,559    |           |
| 受 取 賃 貸 料           | 2,181    |           |
| 支 払 手 数 料 返 還 金     | 700      |           |
| そ の 他               | 385      | 7,826     |
| 営 業 外 費 用           |          |           |
| 支 払 利 息             | 7,698    |           |
| 為 替 差 損             | 2,949    |           |
| 株 式 交 付 費           | 1,000    |           |
| そ の 他               | 5,155    | 16,803    |
| 経 常 利 益             |          | 547,464   |
| 特 別 利 益             |          |           |
| 固 定 資 産 売 却 益       | 982      |           |
| 訴 訟 等 引 当 金 戻 入 額   | 268      |           |
| 関 係 会 社 株 式 売 却 益   | 2,210    | 3,461     |
| 特 別 損 失             |          |           |
| 固 定 資 産 除 却 損       | 3,520    | 3,520     |
| 税 引 前 当 期 純 利 益     |          | 547,406   |
| 法 人 税 等             | 14,930   |           |
| 法 人 税 等 調 整 額       | △166,572 | △151,642  |
| 当 期 純 利 益           |          | 699,048   |

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主総会参考書類

### 第1号議案 定款一部変更の件

当社の今後の事業展開及び事業内容の明確化を図るため、現行定款第2条（目的）に事業目的を追加するものであります。

#### 1. 定款変更の内容

第2条（目的）の変更内容は、次のとおりです。

（下線部分は変更箇所を示しております。）

| 現行定款                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 変更案                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| <p>第2条</p> <p>（目的）<br/>当社は、次の事業を営むことを目的とする。<br/>（1）日本の伝統文化に関する啓蒙、教育、研修、紹介及びその企画<br/>（2）各種講演会・シンポジウム・セミナー及びイベントの企画、制作、開催及び実施運営<br/>（3）装飾品（指輪・ネックレス・腕輪・かんざし・ヘアピン等）の企画、製造、販売、輸出入及び貸与<br/>（4）衣料用繊維製品の企画、製造、販売、輸出入及び貸与<br/>（5）日用家庭用品及び日用品雑貨の販売及び輸出入<br/>（6）什器備品、文房具の企画、製造、販売及び輸出入<br/>（7）食料品、飲料品の企画、製造、販売及び輸出入<br/>（8）飲食店の経営<br/>（9）古物の売買、輸出入及びその受託販売</p> | <p>第2条</p> <p>（目的）<br/>当社は、次の事業を営むことを目的とする。<br/><br/>（1）～（27）（現行通り）</p> |

| 現行定款                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 変更案 |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--|
| <p>(10) ネイル・メイクアップサロン、ヘア・メイクアップサロン等の経営</p> <p>(11) 自転車、通信機器等の貸与</p> <p>(12) インターネット等のネットワークを利用した商品の売買システムの設計、開発、運用、保守、販売及び賃貸</p> <p>(13) インターネットを利用した通信販売業</p> <p>(14) 著作権・出版権・翻訳権・商品化権等の知的所有権の実施、使用、利用許諾、維持管理、販売及び貸与</p> <p>(15) 倉庫業、貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業、貨物軽自動車運送事業及び荷役・物品の保管業</p> <p>(16) 広告の企画、制作及び代理並びに宣伝業</p> <p>(17) 労働者派遣事業及び有料職業紹介事業</p> <p>(18) 経営に関するコンサルティング業務</p> <p>(19) 不動産の売買、賃貸、管理、仲介及びコンサルティング業務</p> <p>(20) 投資業</p> <p>(21) 有価証券の保有、運用、投資及び売買</p> <p>(22) クリーニング取次業</p> <p>(23) 動物取扱業</p> |     |  |

| 現行定款 | 変更案                                                                                                                                                                                     |                                                             |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
|      | <p>(24) フランチャイズチェーン店の経営及びその指導</p> <p>(25) 宅宿泊事業法に基づく住宅宿泊事業、住宅宿泊管理業、住宅宿泊仲介業</p> <p>(26) ホテル・旅館・その他宿泊施設の経営、運営及びその受託</p> <p>(27) 旅行業法に基づく旅行業<br/>(新設)</p> <p><u>(28)</u> 前各号に附帯する一切の業務</p> | <p><u>(28)</u> 宅地建物取引業</p> <p><u>(29)</u> 前各号に附帯する一切の業務</p> |

第2号議案 監査等委員でない取締役5名選任の件

監査等委員でない取締役全員（4名）は、本定時株主総会終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、経営体制強化のため1名増員し、監査等委員でない取締役5名の選任をお願いしたいと存じます。

監査等委員でない取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号   | ふりがな氏名<br>(生年月日)                        | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                    | 所有する<br>当社の<br>株式数 |
|---------|-----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1       | もり とも ひろ<br>森 智 宏<br>(1978年12月10日)      | 1997年6月 個人事業にて当社事業を創業<br>2003年2月 当社設立 代表取締役社長（現任）<br>2015年12月 株式会社フォレスト 代表取締役社長（現任）<br>2020年9月 マイグレ株式会社 代表取締役（現任）                                                                                                | 1,643,000株         |
| 2       | も がみ ゆめ と<br>最 上 夢 人<br>(1979年3月25日)    | 1997年6月 個人事業にて当社事業を創業<br>2003年2月 当社設立 専務取締役モノ事業部本部長<br>2020年7月 当社 専務取締役店舗事業部本部長（現任）                                                                                                                              | 264,600株           |
| 3       | おだぎり しん ご<br>小田桐新五<br>(1975年5月24日)      | 1994年4月 株式会社レインボー 入社<br>1998年2月 CFJ合同会社 入社<br>2006年9月 当社 入社<br>2014年4月 当社 取締役<br>2014年12月 当社 退社<br>2015年1月 株式会社アルジャーノンプロダクト 入社（同社取締役）<br>2017年9月 当社 入社<br>2020年3月 当社 取締役法人営業部本部長<br>2023年3月 当社 専務取締役法人営業部本部長（現任） | 一株                 |
| 4       | い ない しょう へい<br>稲 井 祥 平<br>(1989年12月6日)  | 2012年4月 野村證券株式会社 入社<br>2017年7月 野村證券株式会社 退社<br>2017年9月 REFINAS 創業<br>2018年5月 株式会社リフィナス設立 代表取締役社長（現任）<br>2025年3月 当社 社外取締役（現任）                                                                                      | 31,000株            |
| 5<br>新任 | さい どう じゅん いち<br>斎 藤 順 一<br>(1981年6月19日) | 2006年4月 -General Electric (GE) インターナショナル入社<br>2017年6月 -General Electric (GE) インターナショナル退社<br>2017年7月 スタートアップ（現日本未来農業グループ） 入社<br>2024年9月 株式会社日本未来農業 退社<br>2025年3月 当社 執行役員CFO（現任）                                   | 2,500株             |

- (注) (1) 稲井祥平氏は、社外取締役候補者であります。
- (2) 森智宏氏を候補者とした理由は、創業者であり代表取締役社長として強い求心力と企業経営に関する豊富な経験を有し、長年にわたり当社の成長を牽引してきたことにあります。その豊富な経験と実績、高い見識が当社の経営に欠かせないものであると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。当事業年度に開催された取締役会20回全てに出席いたしました。
- (3) 最上夢人氏を候補者とした理由は、創業者であり、代表取締役社長森智宏氏とともに長年にわたり当社の成長を牽引してきたことにあります。最前線で経営の指揮を執り、多くの成果を上げております。その豊富な経験と実績、高い見識が当社の経営に欠かせないものであると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。当事業年度に開催された取締役会20回全てに出席いたしました。
- (4) 小田桐新五氏を候補者とした理由は、2020年3月に取締役に就任し、取締役法人営業部本部長として当社グループの重要な事業戦略を担うなど、多くの成果を上げております。当社の事業を発展させ、企業価値の増大を図るために適任であると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。当事業年度に開催された取締役会20回全てに出席いたしました。
- (5) 稲井祥平氏を候補者とした理由は、株式会社リフィナスというキックボクシングジムを展開する企業の代表取締役として、短期間で全国的な事業展開を成し遂げた豊富な企業経営の経験と高い先見性を有しております。野村證券での海外勤務経験に加え、自ら創業し成長させてきた経営者としての知見は、当社の経営判断の妥当性を高めるために不可欠であります。同氏は、社外取締役として独立した立場から、当社の経営全般に対して客観的かつ適切な助言・監督を行っていただけのものと判断し、引き続き社外取締役として選任をお願いするものであります。同氏は就任後開催された取締役会17回全てに出席いたしました。なお、同氏の監査等委員でない社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって1年となります。
- (6) 斎藤順一氏を候補者とした理由は、当社の執行役員CFOとして、財務戦略の立案および実行、ならびに管理体制の強化において多大なる貢献を果たしてまいりました。当社の財務状況および経営課題に精通しており、その専門的な知見は当社の意思決定およびガバナンスの向上に不可欠であると判断し、新たに取締役として選任をお願いするものであります。

- (7) 当社は、再任候補者である森智宏氏、最上夢人氏、小田桐新五氏、稲井祥平氏と会社法第430条の2第1項に規定する補償契約を締結しており、同項第1号の費用及び同項第2号の損失を法令の定める範囲内において当社が補償することとしております。各氏の再任が承認された場合には、当該契約を継続する予定であります。
- (8) 新任候補者である斎藤順一氏の選任が承認された場合には、同氏との間で上記同様の補償契約を新たに締結する予定であります。
- (9) 当社は、社外取締役候補者である稲井祥平氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項に定める損害賠償責任を限定する契約（責任限定契約）を締結しており、同氏の再任が承認された場合には、当該契約を継続する予定であります。
- (10) 当社は、稲井祥平氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。同氏の再任が承認された場合には、引き続き独立役員とする予定であります。
- (11) 各取締役候補者と当社の間には、特別の利害関係はありません。
- (12) 当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者が負担することになる法律上の損害賠償金及び争訟費用を当該保険契約により填補することとしております。各候補者は、当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。

第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

監査等委員である取締役全員（3名）は、本定時株主総会終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、監査等委員である取締役3名の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本議案につきましては、監査等委員会の同意を得ております。

監査等委員である取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | ふりがな氏名<br>(生年月日)                      | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                       | 所有する<br>株式の数 |
|-------|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 1     | しら がた とし ろう<br>白 潟 敏 朗<br>(1964年3月7日) | 1986年4月 共同VAN株式会社（現SCSK株式会社）入社<br>1990年1月 サンワ・等松青木監査法人（現有限責任監査法人トーマツ）入所<br>2001年6月 株式会社トーマツ環境品質研究所取締役<br>2006年10月 トーマツイノベーション株式会社代表取締役社長<br>2014年10月 白潟総合研究所株式会社 代表取締役社長（現任）<br>当社 社外取締役<br>2015年6月 株式会社キャパ 取締役（現任）<br>2020年3月 当社 監査等委員である取締役就任（現任） | 4,800株       |
| 2     | つ がね よう へい<br>津 金 庸 平<br>(1981年3月29日) | 2006年12月 みすず監査法人 入所<br>2017年12月 津金庸平公認会計士・税理士事務所設立（現任）<br>2017年12月 LanCul株式会社 監査役（現任）<br>2021年7月 株式会社COLORFULLY 監査役<br>2021年10月 株式会社マイベスト 監査役（現任）<br>NiceGuysVision株式会社 代表取締役（現任）<br>2022年3月 当社 監査等委員である取締役就任（現任）                                   | 一株           |

| 候補者<br>番号 | ふ り が な<br>氏 名<br>(生 年 月 日)        | 略 歴、当 社 に お け る 地 位 及 び 担 当<br>(重 要 な 兼 職 の 状 況)                                                                                               | 所 有 す る<br>株 式 会 社<br>の 数 |
|-----------|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 3         | やま ぐち はじめ<br>山 口 一<br>(1980年4月30日) | 2004年1月 TRUST 創業<br>2010年3月 株式会社TRUST 代表取締役社長<br>2021年6月 株式会社TRUST 会長<br>2021年6月 株式会社CONOC 代表取締役社長<br>(現任)<br>2024年3月 当社 監査等委員である取締役就任<br>(現任) | 一株                        |

- (注) 1. 山口一氏の兼職先である株式会社CONOCは、当社の持分法適用関連会社であります。
2. 白瀧敏朗氏、津金庸平氏及び山口一氏は、社外取締役候補者であります。
3. (1) 白瀧敏朗氏を候補者とした理由は、企業経営における経験とコーポレート・コミュニケーションにおける見識を活かして当社経営の監査を適切に執行していただくため、社外取締役として選任をお願いするものであります。なお、同氏の監査等委員である社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって6年となります。また、同氏の社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって11年6カ月となります。
- (2) 津金庸平氏を候補者とした理由は、公認会計士として培われた豊富な経験及び高い見識を有しており、当社のガバナンス体制の一層の充実、強化が期待できると判断し、当社経営の監査を適切に執行していただくため、社外取締役として選任をお願いするものであります。なお、同氏の監査等委員である社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって4年となります。
- (3) 山口一氏は株式会社CONOCの代表取締役社長であります。当社は同社の株式を保有しておりますが、その保有割合は21.0%であります。山口一氏を候補者とした理由は、株式会社CONOCの代表取締役を務めており、企業経営者として豊富な経験と幅広い知識を有しております。経営者としての知見を活かして、当社経営の監査を適切に執行していただくため、社外取締役として選任をお願いするものであります。なお、同氏の監査等委員である社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって2年となります。

4. 当社は、定款において会社法第427条第1項の規定に基づき、非業務執行取締役及び監査等委員である取締役との間において、会社法第423条第1項の損害賠償責任について、法令の限度において免除することができる旨を定めております。白瀧敏朗氏、津金庸平氏及び山口一氏は責任限定契約を締結しており、各氏の選任が承認についてご承認いただいた場合には、当該契約を継続する予定であります。
5. 当社は、白瀧敏朗氏、津金庸平氏及び山口一氏との間で、会社法第430条の2第1項の規定による補償契約を締結しております。当該契約では、同項第1号の費用及び同項第2号の損失を法令の定める範囲内において当社が補償することとしております。各氏の選任についてご承認いただいた場合には、当該契約を継続する予定であります。
6. 当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者が負担することになる法律上の損害賠償金及び争訟費用を当該保険契約により填補することとしております。各候補者は、当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。
7. 白瀧敏朗氏、津金庸平氏及び山口一氏は独立役員として東京証券取引所に届け出ております。
8. 各取締役候補者と当社の間には、特別な利害関係はありません。

以 上

# 株主総会会場ご案内図

## 会場

株式会社和心 2階会議室

東京都渋谷区千駄ヶ谷三丁目20番12号 和心ビル

## 交通

JR線 | 千 駄 ヶ 谷 駅 | 徒歩8分

地下鉄 | 副都心線北参道駅 | 徒歩4分

地下鉄 | 大江戸線国立競技場駅 | 徒歩8分



※政府等の発表内容によって感染予防対応や開催場所、開催時間を変更する場合がございます。本総会に関する情報につきましては、当社ウェブサイトにてご確認ください。  
<https://www.wagokoro.co.jp>

※駐車場の用意はいたしておりませんので、お車での来場はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。